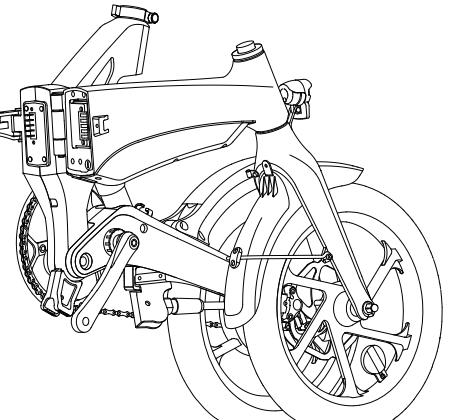
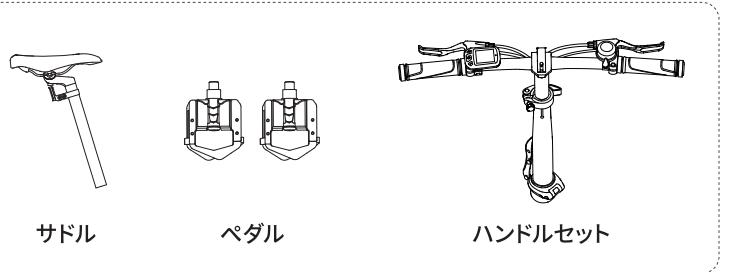
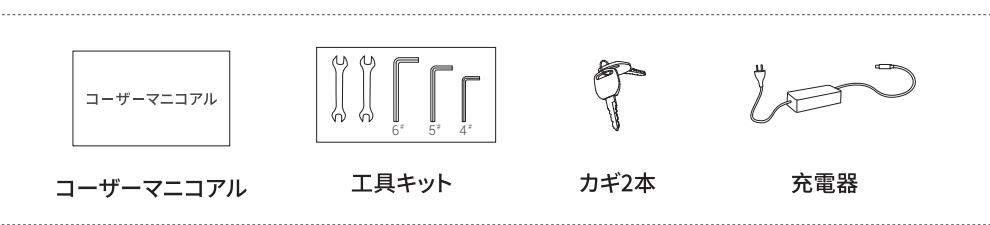


# 電動自転車ユーザー マニュアル

適用モデル: LIGHT-P2

温かいご注意:  
ライド前に、すべての製品説明をよくお読みください。読ん 老後は、大切に保管読んだ後は、大切に保管してください。電動自転車の特性を理解するまで、使用しないでください。

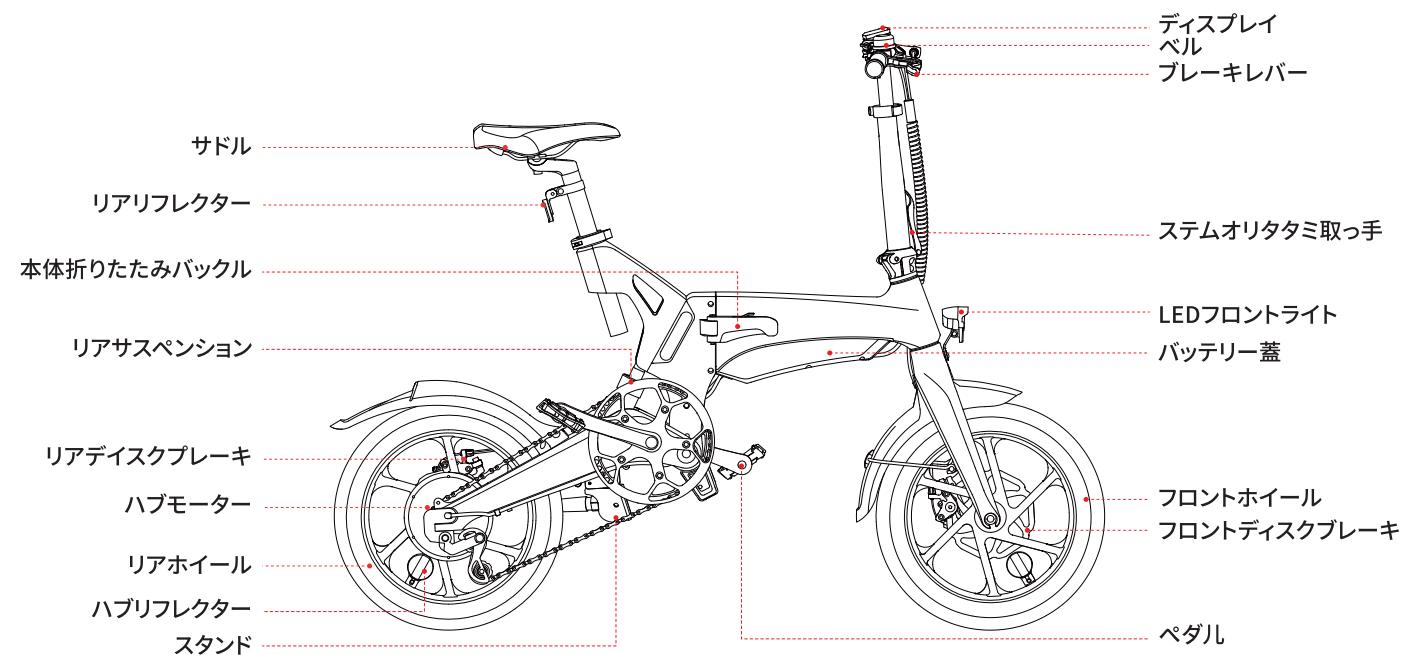
## 付属品



LIGHT-P2 オリタタミ自転車

\*梱包箱内の物品がすべて揃っているか、紛失や破損がないかをよく確認してください。

## 部品説明

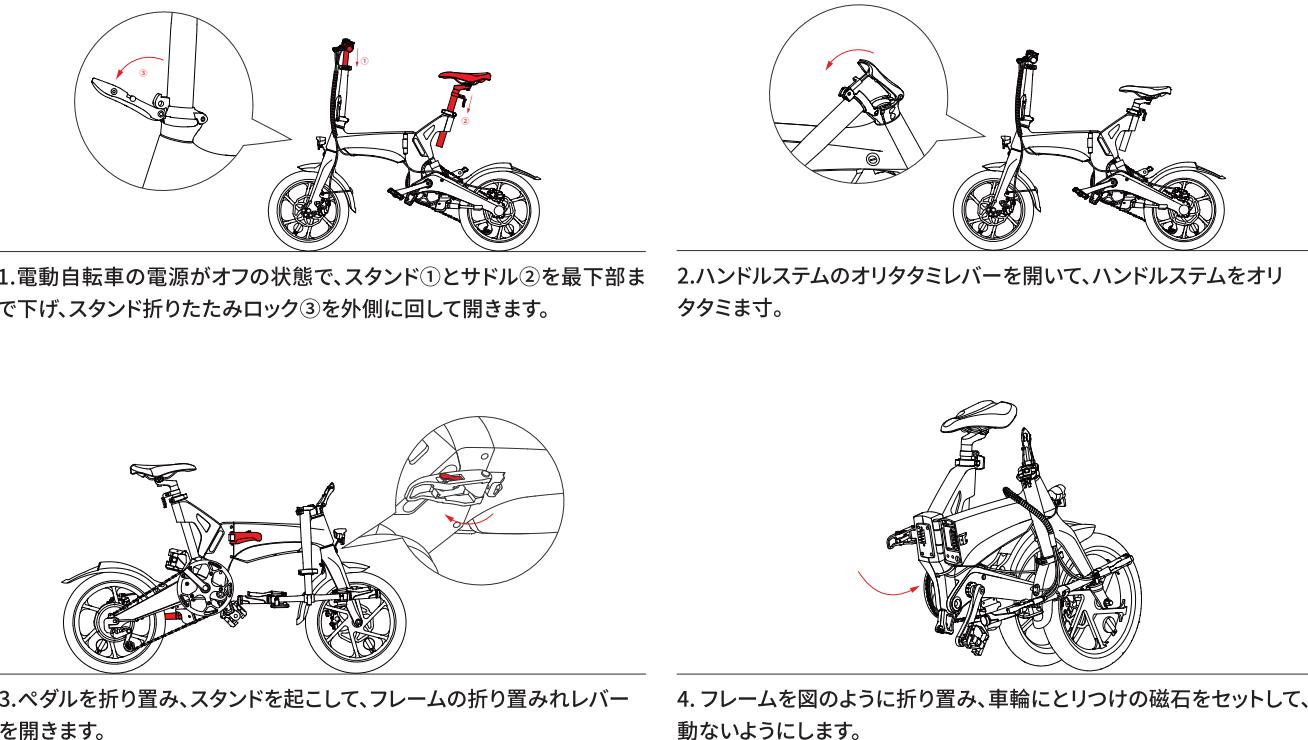


## 基本パラメータ

セクションの種類	製品番号	LIGHT-P2
商品情報	製品サイズ	1380*570*1040-1160mm(ステム伸縮) / 折畳:695*515*715mm
	車両重量	22 kg
	最大積載量	85 kg
	駆動方式	トルクセンサー
	ブレーキ(前/後)	160MM 前後ディスクブレーキ
スペック	サスペンション	リアサスペンション
	タイヤ	16*2.125 Inch
	アシスト	24km/hまでアシスト
	1充電当走行距離	最大約70km
	バッテリー容量	36V 7.65Ah
	モーター	250W
	ディスプレイ	LCD
照明装置	前照灯	LEDフロントライト
	後尾灯	はい
充電器	充電電流	42V 2A
	充電時間	3-5h

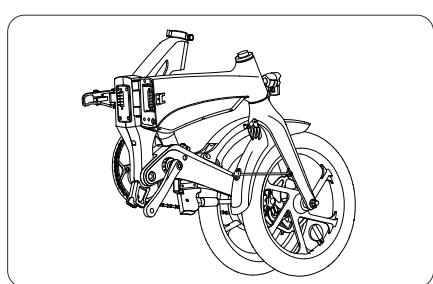
ご自身のニーズに応じて、適切なバージョンをお選びいただけます。また、P2では、今後さまざまなオプションのアップグレードアクセサリーやカラースタイルキットが発売される予定です。具体的な詳細については、購入先のディーラーにご相談ください。

## 折り方

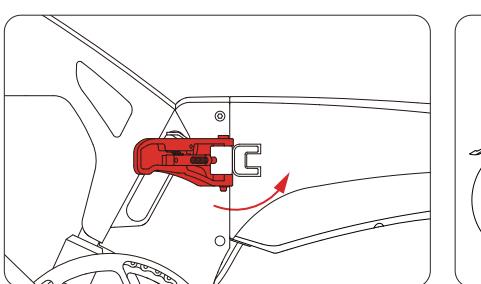


警告: 前車体を折りたたむ前に、必ずバッテリーのスイッチ穴に挿入されているキーを抜いてください。折りたたむ際にキーが折れてしまう恐れがあります。

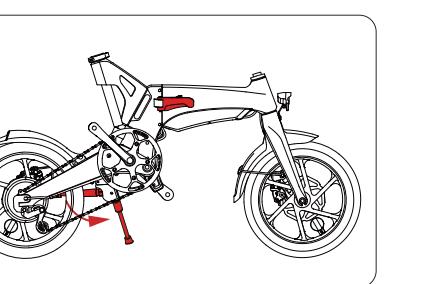
## 組立方法



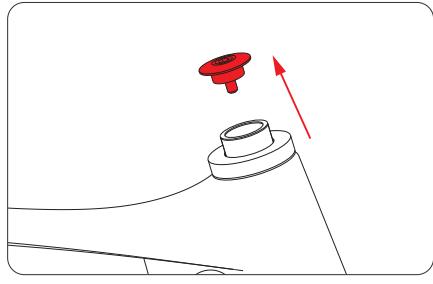
1.自転車を収納するときは折りたたみ状態になります。全体の保護用発泡材を取り外します。



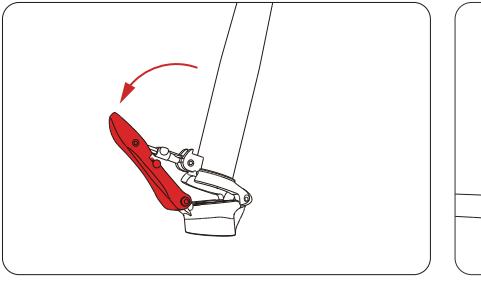
2.フレームを組み立て、フレームオリタミレバーを車体の方向をたたんで締めてください。



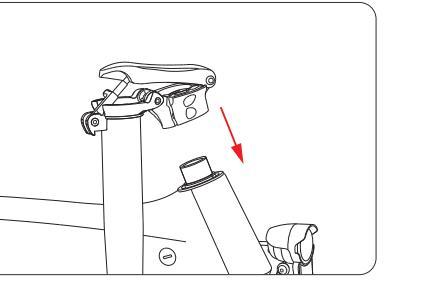
3.スタンドをたててください。



4.ハンドルを組み立てる前に、4mm六角レンチでフォークコラムのペッドキャップを取り外します。取り外したペッドキャップを無くさないようにしてください。

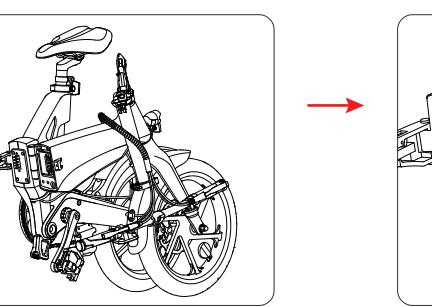


5.ハンドルシステムのオリタミレバーを開いて、ハンドルシステムをオリタミます。

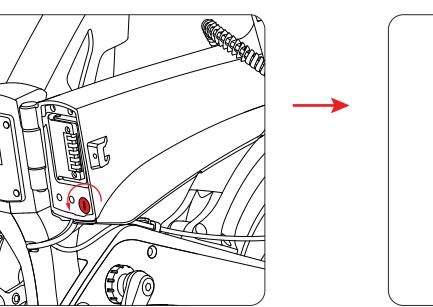


6.折り畳んだ状態のハンドルシステムをフォークに取り付けます。取り付け時にハンドルシステムの方向に気をつけてください。

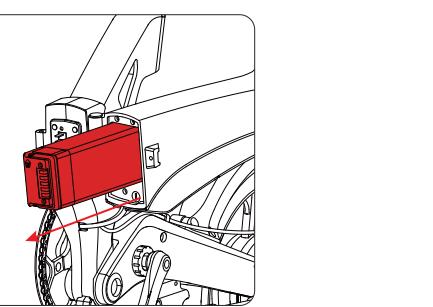
## バッテリーの取り外し方法



1.自転車を折りたたみ状態にします。

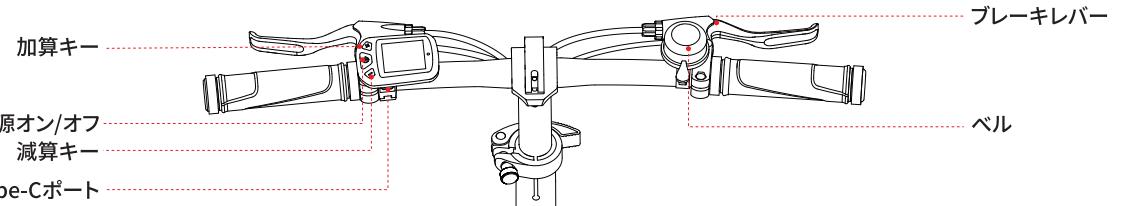


2.鍵を左に回してバッテリーロックを解除します。



3.バッテリーの取っ手を回して外側に引き出します。

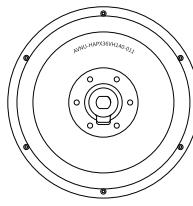
## ヘッド組み合わせスイッチ



	短く押す	長く押す(電源オン後)	同時に押す
	ODO総距離表示への切り替え	電源のオン/オフ	/
	パワーアシストレベルを上げる	ライトのオン/オフ	スリープ設定:ホイール径設定 最高速度設定:バックライト設定 表示単位設定:距離のリセット
	パワーアシストレベルを下げる	ブースターモードのオン/オフ	

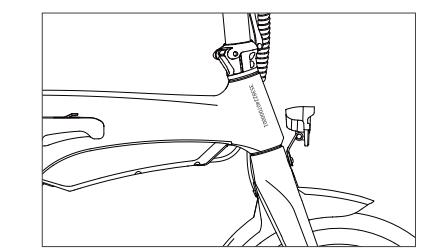
## モーターコード

モーターの端部に刻印されています(図参照)。



## フレーム番号

図の位置に表示されています。

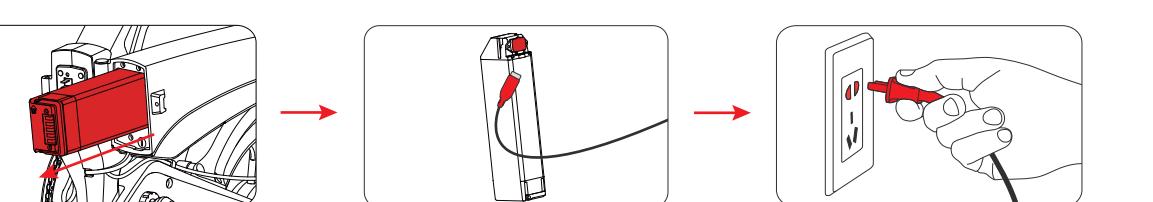


## バッテリーの使用について

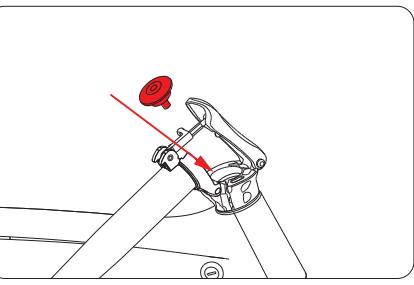
輸送や保管の過程で、バッテリーの自己放電などの原因により、初めて使用する際に電量が低かったり、電気がなかったりすることがあります。これは正常な現象です。以下の充電手順に従って充電してください。

### 外部充電

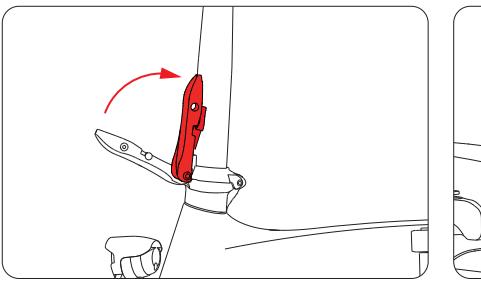
鍵を回してロックを解除し、バッテリーを取り外します。バッテリーボックスの左側にある充電ポートを見つけ、充電ポートのゴムキャップを開けます。充電器の出力端をバッテリーボックスの充電ポートに接続し、電源に接続します。充電が完了したら、充電プラグを抜き、ゴムキャップをしっかりと閉めてからバッテリーを取り付けます。



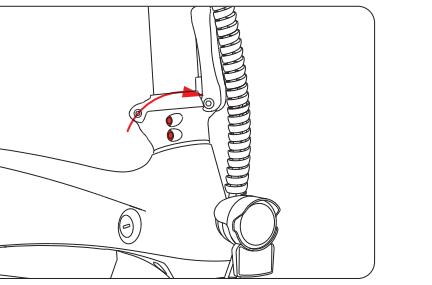
\*充電器の赤色点灯は充電中の表示で、充電が完了したら緑色の点灯になります。充電が完了したら、電源をただちに外してください。  
車体の温度が40度を超えるときには、正常に充電ができないことがあります。その場合は、40度以下になるのを待ってから充電してください。



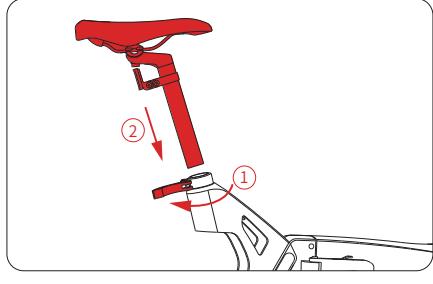
7.先ほど取り外したペッドキャップを上記のように取り付けて、4mmレンチで締めつけます。



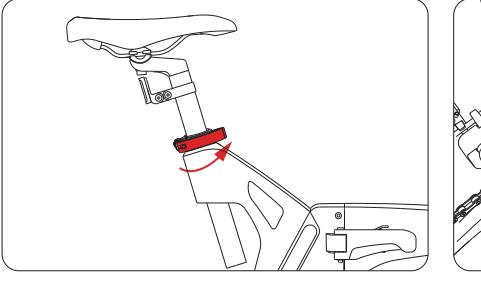
8.ハンドルシステムを組立て、ハンドルシステムのオリタミレバーを締め付けます。



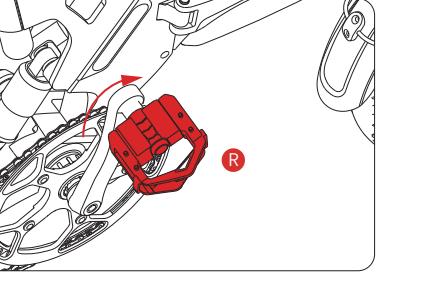
9.ハンドルを正しい位置に固定してあと、5mm6角レンチにて、動かないように締め付けます。



10.サドルセットまず①のシートレバーを緩めて、サドルをセット②。



11.サドルが位置をきめて、シートレバーを締める。サドルが動かないか確認。



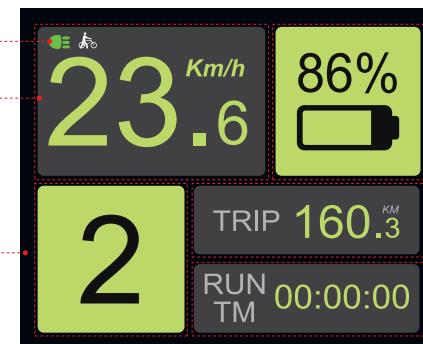
12.ペダルの取り付けまずペダルの左右の表示シールを確認して、右のペダルを右に時計回りに回して取り付け、左のペダルは左に、反時計回りに回して、取り付けます。緩みがないようにしっかりと取り付けること。

## ディスプレイ

ライトの点灯表示

走行速度

走行モード



電池残量

走行距離

走行時間

## エラーコード意味一覧表

エラーコード	故障状態	故障コード(10進数)	故障状態
101	ブレーキレバー接続エラー	34	モーター停止
102	スロットルレバー接続エラー	35	モーター接続エラー
103	スロットルレバーアース線エラー	36	モーターホールセンサー接続エラー
105	速度センサーポートエラー	52	コントロールユニット内部エラー
24	コントロールユニット過電流		
25	コントロールユニット電圧不足		
26	コントロールユニット過電圧		